

## 金剛峯寺本坊の重要文化財（建造物）指定に係る資料

### 1 名称：金剛峯寺本坊 12棟

だいしゆでん おくしょいん しんぜんどう ごまどう しょうろう きょうぞう さんもん  
大主殿及び奥書院（2棟）、真然堂、護摩堂、鐘楼、経蔵、山門、  
えかもん べい ついじべい  
会下門、かご堀（2棟）、築地堀（2棟）  
つけたりしてい ろくじしょうろう むなふだ  
附指定：六時鐘楼 1棟、棟札5枚

### 2 所在地：和歌山県伊都郡高野町大字高野山132番地

### 3 所有者：宗教法人 金剛峯寺

### 4 概要

紀伊山地の北西部に位置する高野山は、弘仁7年（816）に弘法大師空海によって真言密教の修行の場として開かれたことにはじまる。このたび指定されることになる金剛峯寺本坊は、その高野山中心部のほぼ中央に位置し、高野山真言宗を統括する総本山寺院である金剛峯寺の本坊の建造物群である。

金剛峯寺は、学侶方の中心寺院であった青巖寺を引き継ぎ、明治2年（1869）に行行人方の中心寺院であった西隣の興山寺と合併した。このたびの建造物群のほとんどは、旧青巖寺を構成していたものである。本坊のその広大な境内地は、南を正面として、中央に山門を構えて、かご堀と築地堀で南と西に境内を囲い、東には会下門を開く。山門を潜ると、規模の大きな大主殿及び奥書院が現れ、その前には東に鐘楼、西に経蔵が建つ。大主殿及び奥書院の背面側には、東に真然堂、西に護摩堂が並び建つ。境内地南の街路に接した一面には石垣上に六時鐘楼（今回附指定）を建てる。

大主殿及び奥書院は、本坊の中核となる建造物で、万延元年（1860）の火災ののち、文久2年（1862）に再建されたものである。客殿と庫裏（台所）及び書院が接続された複合的な建築で、木造平屋建て、檜皮葺き屋根である。複雑な間取りと各部屋根が連なる形式であるが、この造りは高野山の諸寺院に見られる伝統的な造りであり、山内ではもっとも規模の大きなものになる。総本山寺院にふさわしく、大玄関や大広間、上段の間など、各部の意匠を凝らし良材を用いたもので、高い格式が示されている。また広い板の間とした天井のない吹き抜けの庫裏は、中央に大釜を据え、太い梁を交差した見応えのある空間となっている。

真然堂は、空海に続き草創期の高野山を発展させた高野山二世真然を祀る廟である。木造平屋建て、檜皮葺き屋根で、棟札より寛永17年（1640）の建設で本坊の年代が明らかな建造物では最も古いものである。比較的規模が小さい仏堂で、内部は1室で背面側に仏壇を設ける。

護摩堂は、不動明王を祀り護摩法要を行う仏堂である。真然堂と良く似た木造平屋建て、

桧皮葺き屋根で、文久3年（1863）に建設されたことが棟札より分かる。内部は1室で背面側に3箇所の仏壇を設ける。

鐘楼は、梵鐘を吊る建造物で、木造で二層に造り、桧皮葺き屋根とする。元治元年（1864）に建設されたことが棟札より分かる。建ちが高く、縁の腰組や軒に複雑に組物を用いた華やかな外観で、下層は鐘楼らしく袴腰に造る。

経蔵は、経典や什物を保管した土蔵である。土蔵造り二階建て、桧皮葺き屋根で、延宝7年（1679）に建設された。厚い土壁に漆喰を塗って仕上げた外周を、柱と壁板で囲い、正面には前室を設け、内部は一階、二階ともに一室で、内壁を板壁する。

山門は、木造平屋建て、一間四脚門の形式で、桧皮葺き屋根である。延宝8年（1680）に建設された。柱が太く建ちの高い外観で、各所を彫刻で飾った門になる。

会下門は、木造、長屋門の形式で、桧皮葺き屋根である。慶應元年（1865）頃に建設された。中央に門構えがあり、東西に部屋を並べる。正門である山門に対し、通用門としての性格を持つ。

かご塀は、山門の東西に延びる木造、桧皮葺き屋根の塀で、慶應元年（1865）頃に建設された。築地塀に似た外観を持つが、柱と土壁を組み合わせで造られており、築地塀と異なり内部空間を持つ。

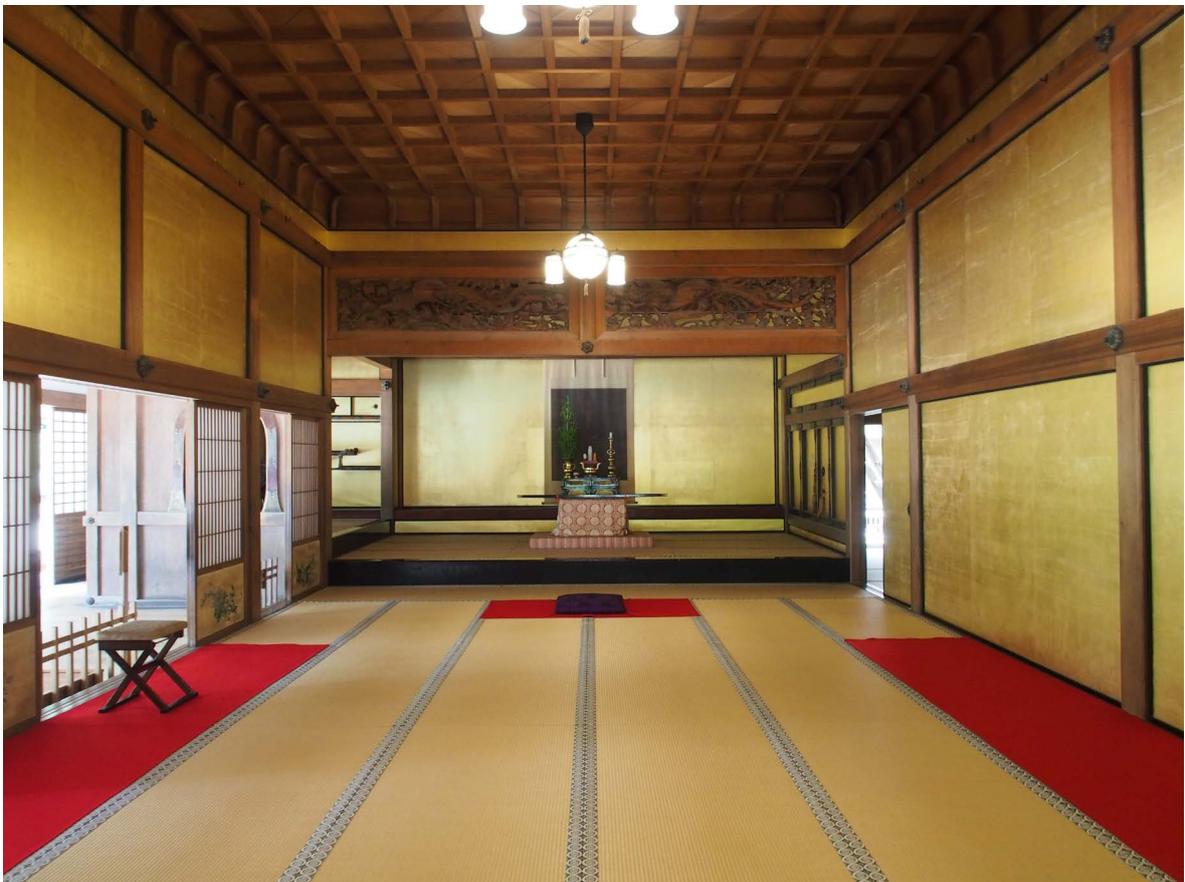
築地塀は、<sup>はんちく</sup>版築工法により土を突き固めて築いた土塀で、屋根を支えるための柱を一間ごとに建て、桧皮葺き屋根とする。青巖寺が創設された文禄2年（1593）頃に建設されたと考えられている。かつての青巖寺時代に境内の西側を画していた塀である。

このように金剛峯寺本坊の境内には、江戸時代前期から末期までの建造物が群として残る。特にその中核をなす大主殿及び奥書院は、高野山真言宗の総本山寺院にふさわしい堂々とした外観と規模、そして格式を誇る建造物であり、その他の建造物と併せ、文化財として高い歴史的価値を持つものである。

金剛峯寺本坊 写真



大主殿及び奥書院 正面外観



大主殿及び奥書院 上段の間



真然堂



護摩堂



表門・かご堀



鐘楼



会下門



経蔵



築地堀



六時鐘楼